



▲床上までつかった庄瀬地区の住宅

6・26梅雨前線豪雨

325ミリの“水魔”襲う

被害総額は16億円を上まわる見込み



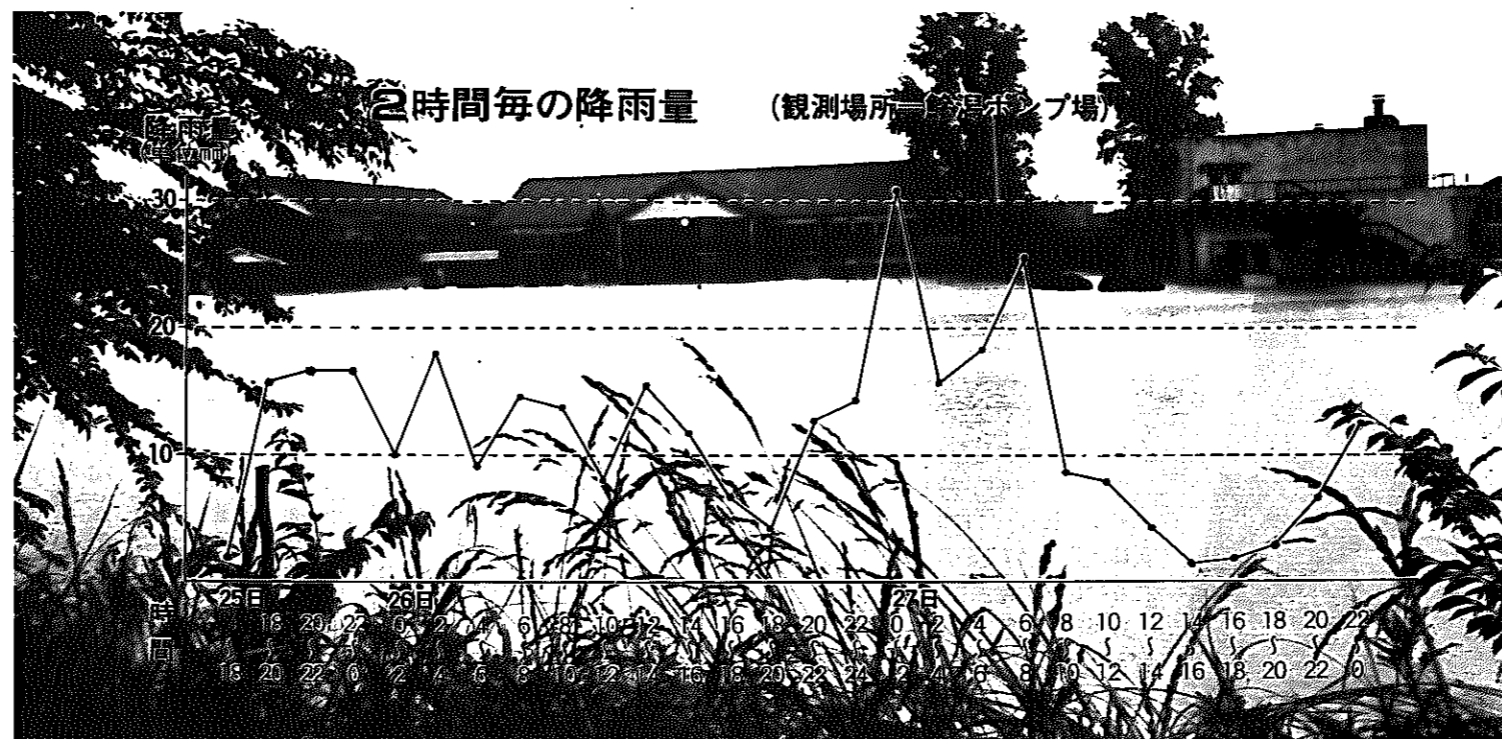
六月二十五日午後九時十四分、大雨洪水警報が——二十六日午後四時に信濃川洪水注意報第一号が発令——午後八時、庄瀬、大郷地区が危険水位に達し、消防団の出動など厳戒体制が敷かれました。
市では、ただちに水害対策本部を設置し、本格的な水防活動を開始しました。
二十七日には、中の口川沿いの一町堤防が、ついで清水樋管、茨曾根樋管がそれぞれ危険状態となり、懸命な防衛活動が進められる一方、県へ現地調査を要請しました。
その後、水位も上昇することなく、堤防の決壊など最悪の事態をさげることができました。



▲堤防と水位が同じに——土のうを積んで必死に防ぐ(大郷橋十字路)



◀清水樋管——破られる



西酒屋の河川敷——自然の猛威をまざまざと▶

